Hiroshima University Schools Mihara

研究開発だより

広島大学附属三原学校園研究部
平成 30 年 1 月 12 日
第５号

平成 29 年度第 20 回幼小中一貫教育研究会の様子

１２月１日・２日に本学校園研究会を開催しました。「研究会全体を通して」，「希望（のぞみ）視点の保育」，「希望（のぞみ）」，「研究開発フォーラム」，「各教科の授業・保育」の様子をお知らせします。

研究会全体を通して

参会者アンケート

本年度の研究会も全国から多くの方々がご参会くださいました。

○12 月１日　　１６２名
○12 月２日　　３１６名
合計　４７８名

アンケートにご記入いただいた，参会者の方の声をご紹介いたします。

★参会者の方の声★

- 子どもたちが主体的に活動していけるよう，子どもにどういう力をつけたいか等しっかりと思いをもって関わっている保育者の姿が印象的でした。
- 異学年・異校種間で交流，連携を図ることでいろいろな成果が見られ，子どもの成長につながるのだと感じました。
- 先進的な研究を見せていただき，子どもの未来を拓く教育の在り方について考えさせていただきました。
- 毎年参加させていただいていますが，研究のことはもちろん，先生方の子どもへの温かなまなざし，声かけ，愛情が伝わってきて，毎回心温まり「明日から私もがんばろう」と思えます。“人のために尽くして感謝しよう”を忘れずに精進していきたいです。

「希望（のぞみ）視点の保育」・「希望（のぞみ）」

年長１年

幼小接続期

どうやったらもう少し長くこまを回せるのかな？（年長）

ひもを、きつく丁寧に巻いて、もう一度やってみようよ！（一年生）

「みんなでいっしょに」

一緒にこま遊びに取り組みました。自分たちで工夫を凝らし，様々な技を考えた子どもたち。授業では，あきらめずに何度も練習したり，技ができたことを自分のことのように喜び合ったりと，年齢が近いからこそ生まれるかかわり合いが見られました。

★参会者の方の声★

- これまでの交流活動の積み重ねが，子どもたちの姿に表れていました。１年生らしさ，年長児らしさが見られました。
- 互いを思いやりながら声をかけ合うなかで，技がどんどん発展していくところがすてきでした。

４年

中間期

「めざせ！かっこいい４年生」

「学校のためにできること」を通しての自分の成長を振り返りました。一人一人が自分の成長を確認することができました。自分一人ではなく，一緒に学校のためにがんばってきた３年生や，共に活動した４年生や実行委員のおかげで成長できたことにも気付くことができました。

ぼくはこの学習をすることで、自分の考えを出し、計画を立てて実行する力がついたよ。

これからは責任をもって学校をよりよくしていきたいし、自分も高めていきたいな。

★参会者の方の声★

- 子どもたちが自分の考えをしっかりもって表現している姿がとても良かったです。
- 子どもたちが自分の考えを書いたものを友だちに見せても気にならないという人間関係の良さがよく見えました。

５年

小中接続期

「絆プロジェクト『留学生交流』」

広島大学の留学生の方との交流を通して，国際理解を進める上で必要なことについて考えました。相手の国の文化や習慣を知るだけでなく，自分たちの国の文化や習慣についてもしっかりと理解することが国際理解につながることに気付くことができました。

まずは、自分たちの国の文化を知る必要があるね。

自分たちの国の文化を知ることが、相手の国の文化を知ることにもつながっているんだね。

★参会者の方の声★

- 留学生の方との交流経験を生かして，国際理解を進める上で必要なことについて具体的に考えることができていました。

８年　最終期

『夢を志に』～Piece&Peace～
「わくわく WORK 職場体験プロジェクト」

職場体験学習に向けて，保護者の方々にご協力いただき，働くことの意味や喜び，苦労などのお話を伺いました。そして松下幸之助さんの考えに触れ，「働く上で大切なこと」を考え，今後の自分について考えました。１月末からの職場体験に向けて，なりたい自分になろうとする気持ちが高まりました。

働く上で大切なことって向上心を持つことだと思うんだ。

★参会者の方の声★

- この授業で「働く上で大切なこと」について，子どもたちの中でうまく焦点化され，誰かの考えを受け取るだけでなく，うまく消化されていました。
- 子どもたちが自分自身のことを振り返り，それぞれの夢に照らし合わせて考えられていてよかったです。

９年・保護者　生徒・保護者役員の様子

「おもてなしの心で」

生徒と保護者が受付・案内・接待・書籍（掲示）に分かれお客様をお迎えしました。笑顔で相手の目を見て挨拶をすることを心がけました。うまくいかない場面もあり，保護者の方々に教えていただきながら頑張ることができました。仕事を通して，何事も多くの人に支えられていることを実感できました。

相手の立場になっておもてなしの心で。

★参会者の方の声★

- 校門を入ると中学生の元気な声が響いていて良かったです。
- 受付では丁寧な言葉遣いと笑顔で対応できていました。
- ９年生があちこちで研究会を支える仕事を頑張っていましたね。

「研究開発フォーラム」

１部

「『希望（のぞみ）』で育った子どもたち」をテーマに，２，３，８，９年生の代表が学んだことを紹介した後，コーディネーターの小原友行先生からの質問に元気よく答えました。

７年生による「子どもプレゼン」

昼休憩の体育館では，７年生「希望（のぞみ）」での問題解決の様子や感想をパネルで紹介し，ご来場の先生方の質問に答えました。

２部

「資質・能力の育成をめざした『深い学び』の創造」をテーマに運営指導委員と研究開発学校等の先生方による研究開発サミットを開催しました。

★第２部の内容★

深澤清治先生のコーディネートにより，シンポジストの先生方に，「資質・能力の育成をめざした『深い学び』の創造」について各学校園の取組を紹介・交流していただきました。また，コメンテーターの白梅学園大学大学院　無藤隆先生と千葉大学　天笠茂先生に，これからの学校教育のあり方をご提案いただきました。

【シンポジストの先生方】
片平るみ先生（山形県赤湯市立赤湯幼稚園園長）
須貝智美先生（山形県赤湯市立赤湯幼稚園研究主任）
末永裕子先生（安芸高田市立美土里小学校研究主任）
矢島裕文先生（信州大学附属松本中学校研究主任）

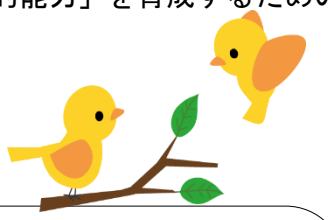
「研究開発だより」（カラー版）を HP に掲載していますので，併せてご覧ください。
http://www.hiroshima-u.ac.jp/fu_mihara/kenkyu

各教科の授業・保育

本学校園では，「キャリアプランニング能力」「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」の３つの資質・能力を，学校教育活動全体を通して育成する資質・能力ととらえ，「通教科的能力」として位置づけています。

保育・教科部では，保育・各教科で身につけるべき力とともに，「通教科的能力」を育成するための取組を，12 年間のつながりを意識しながら進めています。

保育・各授業で，子どもたちが学びを深めている様子をご紹介します。



音楽科部会

１年１組

８年２組

音楽づくり・創作のプロセスの中で，音や音楽を通してコミュニケーションをとりながら学んでいる姿が見られました。想いや意図をもって表したい音楽をつくっていくことができました。

体育・保健体育科部会

２年２組

６年１組

８年１組

「空間」を見つけたり走り込んだりする動きを，チームの仲間と対話しながら見つけて動く姿が見られました。よりよい動きを主体的に模索しながら学びを深めました。

外国語活動・英語科部会

６年２組

８年１組

９年２組

「話すこと（発表）」を共通のテーマとして単元を構成しました。小学校では，「夢宣言」につながるようにクイズを作り，中学校では自分の考えを表す活動を行いました。より良い発表のためにグループで検討する姿が見られました。

家庭科部会

６年１組

家の間取りを想定した上で，ある家族にあった暖房器具を選びました。それぞれの家庭で調べてきた暖房器具の特徴を基に，安全や健康，経済面など総合的に考えながら選んでいました。

図画工作・美術科部会

４年１組

前時までに学習したかきべらとスタンプの技能を発揮して，土粘土で「はじめて見る〇〇！」を製作しました。短い時間で作りたいものをイメージし，どんどん表現しようとする姿が見られました。

国語科部会

１年２組

５年２組

７年１組

９年１組

文学的文章を子どもたちが自ら問いを立てて読み進めることで，作品の主題と自分の考え方とを対話させながら，問いに対しての考えを友だちと交流し，学びを深めようとする姿が見られました。

社会科部会

４年２組

５年２組

９年２組

４年生「三原城」，５年生「海運」，８年生「著作権」について，資料を活用しながら，交流を通して考えを深めることができました。

算数・数学科部会

１年１組

３年１組

ゲームで発生した算数・数学的現象を分析・考察する中で，自分の考えを確率につながる考え方や言葉を用いて説明する姿が見られました。

理科部会

７年１組

水の柱の中の水圧の変化を予想し，実験で確かめました。実験結果を，学んだ知識や技能を使って考察し，圧や気圧に関する見方や考え方を深めていきました。

保育部会

年少（もも組）・年中（さくら組）

《年少・年中の異学年交流》

年中児は，おばけやしきに年少児を招待することで，優しくかかわる姿や自信をもってやってみようとする姿が見られました。年少児は，年中児の真似をしておばけやしきをつくったり，おばけになりきったりして楽しみました。

講演会

演題：幼小中の学校段階の特徴と接続
白梅学園大学大学院子ども学研究科
特任教授　無藤　隆 先生

幼稚園教育要領と学習指導要領の改訂から捉える，幼小接続のあり方についてご講演いただきました。

演題：深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント
千葉大学教育学部
特任教授　天笠　茂　先生

「社会に開かれた教育課程」の編成，カリキュラム・マネジメントのあり方，教育課程と授業とのつながりについてご講演いただきました。